

本剤を吸入投与で取り扱う方へ

ジトリペントートカル 静注 1000mg 及び アエントリペントート 静注 1055mg の 吸入投与方法について

監修：独立行政法人 放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター

○ はじめに

本剤の有効性及び安全性は静脈内投与において確認されています。しかし、海外において、体内汚染が吸入のみによって起こった場合、緊急的にネブライザー(吸入器)を用いて本剤を吸入投与できることが報告されています。

本剤を吸入投与した患者には、吸入1回の投与量が静脈内投与の1日投与量(上限)になるため、同日に静脈内投与はできません。静脈内投与ができる状況にあれば静脈内投与を行ってください。

喘息の持病のある患者は、喘息の悪化を伴う可能性がありますので、慎重に投与してください。ジトリペントートカル静注1000mgは妊婦に対して原則禁忌です。

○ 吸入器の種類

ネブライザーの種類は大きく分けて、圧縮空気で作る「ジェット式」と、超音波で霧を発生させる「超音波式」があります。

複数種のネブライザーが利用可能であれば、より効果的に肺の奥まで届くように、噴霧粒子径の小さな機種を選択してください。一般的に「超音波式」は比較的微細な粒子(5 μ m以下)を発生させ、肺の奥まで到達させることができます。

○ 吸入投与液の調製方法

- ・ネブライザーの取り扱いは、取扱説明書に従ってご使用ください。
- ・本剤を同容量の注射用水又は生理食塩液で薄めて使用して下さい(1:1希釈)。
- ・本剤5mL全量を使用するとき、調製後の液量は10mLとなります。ネブライザー付属の薬液カップの容量を超える場合は、2, 3回に分けてください。また、薬液カップで希釈する場合は、薬液カップの容量を確認してください。
- ・希釈液を薬液カップに入れ、ネブライザーにセットしてください。



○ 吸入方法について

ネブライザーの吸入用アタッチメントとしては、マウスピースと吸入マスクのどちらも使用できます。口からの吸入が正しく行えない場合は、効果的な除染が期待できません。確実に吸入できるように吸入用アタッチメントを選択し、患者に吸入方法をご指導ください。

- (1) **マウスピースを用いる場合**: マウスピースは、軽く噛むか、口を軽く開けるようにしてくわえます(図1)。上下の歯の隙間から周囲の空気を一緒に吸い込むようにします(マウスピースを完全にくわえてしまうと気流が発生しにくくなるため)。
吸入マスクを用いる場合: 吸入マスクは、鼻と口を覆うようにします(図2)。
- (2) 腹式呼吸でまず完全に呼気を吐き出し、続けて、薬液の噴霧ミストをゆっくり口で深く吸い込みます(気道全体および肺の奥まで届くようにするため)。
- (3) 息を吸い込んだ状態で10秒程度息を止めます(薬液が気道に付着するようにするため)。その後ゆっくり鼻から吐き出します。
- (4) 薬液がなくなるまで(2)と(3)を繰り返します。
(全量の吸入を終えるまで再セットして繰り返します)
- (5) 吸入時には、痰を飲み込まないように、吐き出させるようにしてください。

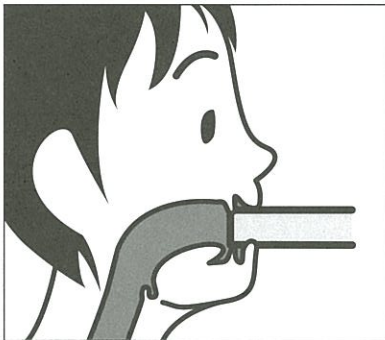


図1

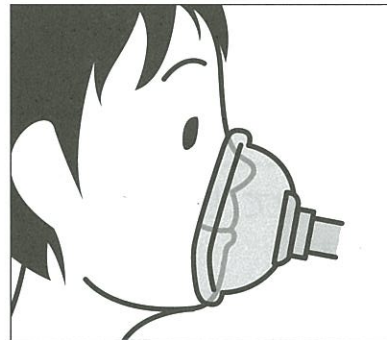


図2

○ 取り扱い上の注意

- ・本剤が目に入った場合は、直ちに水で洗い、適切な処置を行ってください。

※ 投与された場合は、「ご使用連絡シート」にご記入の上、FAX を送信してください。